

2016年度 第2四半期 決算説明会

2016年12月1日

TAK 高島株式会社

1 2016年度 前半期決算

- ① P/L概況
- ② セグメント別情報（概況・建材・産業資材・賃貸不動産）
- ③ 財政状態
- ④ キャッシュ・フロー

2 2016年度 後半期見通し

- ① 概況
- ② 建材セグメント
- ③ 産業資材セグメント
- ④ 賃貸不動産セグメント

3 2016年度 通期見通し

単位：百万円

科目	2015年度 前半期	2016年度 前半期	差異 (対前年同期増減比)
売上高	45,543	40,374	▲5,169(▲11%)
売上総利益	4,107	3,700	▲407(▲10%)
販売費及び一般管理費	3,293	3,118	▲175(▲5%)
営業利益	813	581	▲232(▲29%)
営業外損益	76	▲94	▲170(▲224%)
経常利益	889	487	▲402(▲45%)
特別損益	▲6	258	+264(NA)
税金等調整前四半期純利益	882	746	▲136(▲15%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	548	511	▲37(▲7%)

- ✓ 建材セグメント …………… **太陽エネルギー関連分野の市場低迷**などにより減収減益
- ✓ 産業資材セグメント …… 樹脂関連分野での**小野産業の連結寄与**などにより増収増益
- ✓ 賃貸不動産セグメント …… ホテル賃貸および賃貸物件の空室率改善などにより増収増益

単位：百万円

セグメント	科目	2015年度 前半期	2016年度 前半期	差異 (対前年同期増減比)
建材	売上高	29,174	23,421	▲5,753(▲20%)
	セグメント利益	377	50	▲327(▲87%)
産業資材	売上高	16,231	16,779	+548(+3%)
	セグメント利益	395	451	+56(+14%)
賃貸不動産	売上高	137	172	+35(+26%)
	セグメント利益	40	79	+39(+96%)

- ✓ 太陽エネルギー …… **固定買取価格の引き下げや電力会社の買取制限などによる需要低迷**を受け、住宅用・産業用とも大幅減少。
- ✓ その他建材 …… 年度後半に集中している工事受注案件の取り込みにより回復基調。後半期は堅調に推移するものと考えられる。

単位：百万円

部門別売上高	2015年度 前半期	2016年度 前半期	差異 (対前年同期増減比)
太陽エネルギー	11,420	7,382	▲4,037(▲35%)
その他建材	17,754	16,039	▲1,715(▲10%)
建材合計	29,174	23,421	▲5,753(▲20%)

- ✓ 樹脂 …………… **小野産業株式会社の連結寄与など**により増加
- ✓ 機能資材 …… 商業施設向け省エネ機器工事の需要低迷などにより減少
- ✓ 繊維 …………… シートハウス需要低迷などにより減少
- ✓ 車両部材 …… 急激な円高による目減りなどにより減少
- ✓ 電子部品 …… アジアでの新規受注好調で円高による目減りを大部分カバー

単位：百万円

部門別売上高	2015年度 前半期	2016年度 前半期	差異 (対前年同期増減比)
樹脂	1,143	2,944	+1,800(+58%)
機能資材	1,298	921	▲377(▲29%)
繊維	8,809	8,022	▲786(▲9%)
車両部材	906	869	▲37(▲4%)
電子部品	4,073	4,022	▲51(▲1%)
産業資材合計	16,231	16,779	+548(+3%)

- ✓ 2015年5月に賃貸を開始した賃貸ホテルが安定収益源に。
- ✓ 賃貸マンションの空室率も改善。

単位：百万円

部門別 売上高	2015年度 前半期	2016年度 前半期	差異 (対前年同期増減比)
賃貸不動産	137	172	+35 (+26%)



有利子負債の返済などによる総資産圧縮により**財務の健全性が向上**

- ✔ 総資産 …………… 配当金支払いや借入の返済などによる現預金の減少、売掛債権の回収、棚卸資産の販売、投資有価証券の売却などにより減少
- ✔ 純資産 …………… 純利益計上も為替換算調整や有価証券評価差額により減少
- ✔ 自己資本比率 …… 有利子負債返済などによる総資産の圧縮により向上

単位：百万円

科目	2015年度 前半期	2016年度 前半期	差異 (対前年同期増減比)
総資産	44,346	40,559	▲3,787(▲9%)
有利子負債	5,070	3,535	▲1,535(▲30%)
純資産	13,474	13,374	▲100(▲1%)
自己資本比率	30.4%	33.0%	+2.6pts

財務健全性を向上させるため

大幅に増加したフリーキャッシュフローを**有利子負債の返済に充当**

- ✓ 営業キャッシュ・フロー・・・ 仕入債務の支払い増加を上回って売上債権の回収が進んだことや棚卸資産の販売進展などにより大幅増加
- ✓ 投資キャッシュ・フロー・・・ 前年同期に発生したホテル建設代金支払いが完了したことや、今期に行った投資有価証券の売却などにより大幅増加
- ✓ 財務キャッシュ・フロー・・・ 短期借入金の返済、長期借入金の返済、配当金の支払いにより大幅減少

単位：百万円

科目	2015年度 前半期	2016年度 前半期	差異
営業キャッシュ・フロー	414	651	+237
投資キャッシュ・フロー	▲531	464	+995
フリーキャッシュ・フロー	▲117	1,115	+1,232
財務キャッシュ・フロー	▲963	▲1,773	▲810

- ✓ 売上高は、前半期に受注した工事の売上計上などにより前年同期比で増加を見込む
- ✓ 営業利益は、売上総利益率が低下することなどにより前半期比で減少を見込む
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益も、営業減益などにより前年同期比で減少を見込む

単位：百万円

科目	2016年度 前半期 実績	2016年度 後半期	
		見通し	前年同期増減比
売上高	40,374	49,626	+3,939(+9%)
営業利益	581	819	▲55(▲6%)
経常利益	487	813	▲51(▲6%)
親会社株主に 帰属する四半期純利益	511	539	▲35(▲6%)

- ✓ 太陽エネルギー …… 需要の減速により住宅・産業用ともに減少を見込む
- ✓ その他建材 …… 前半期に受注した工事物件の完工が集中するとともに、需要の端境期を過ぎ需要は回復基調。後半期は堅調に推移すると見込む

単位：百万円

科目	2016年度 前半期 実績	2016年度 後半期	
		見通し	前年同期増減比
売上高	23,421	31,235	+3,283(+12%)
セグメント利益	50	217	▲85(▲28%)

- ✓ 樹脂 …………… 小野産業株式会社の新規受注などにより増加を見込む
- ✓ 機能資材 …… 商業施設向け省エネ機器工事の需要回復を見込む
- ✓ 繊維 …………… ほぼ前年並みを見込む
- ✓ 車輻部材 …… 国内新規車輻への部材供給拡大を見込む
- ✓ 電子部品 …… アジアでの新規受注増加を見込む

単位：百万円

科目	2016年度 前半期 実績	2016年度 後半期	
		見通し	前年同期増減比
売上高	16,779	18,221	+659(+4%)
セグメント利益	451	524	+8(+2%)

- ✓ 賃貸ホテル、賃貸マンションとも安定稼動を見込む

単位：百万円

科目	2016年度 前半期 実績	2016年度 後半期	
		見通し	前年同期増減比
売上高	172	172	±0(±0%)
セグメント利益	79	79	+22(+39%)

2016年度 通期見通し

- ✓ 売上高は、太陽エネルギー関連市場の需要減速などにより減収を見込む
一方で産業資材分野においては新規受注や需要回復などにより増収を見込む
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益では前年同期比微減にとどまる見込み

単位：百万円

科目	セグメント	2015年度 実績	2016年度 見通し	差異 (対前年同期増減比)
売上高	総計	91,230	90,000	▲1,230 (▲1%)
	建材	57,127	54,656	▲2,471 (▲4%)
	産業資材	33,793	35,000	+1,207 (+4%)
	賃貸不動産	309	344	+35 (+11%)
営業利益	総計	1,687	1,400	▲287 (▲17%)
	建材	679	267	▲412 (▲61%)
	産業資材	911	975	+64 (+7%)
	賃貸不動産	97	158	+61 (+63%)
経常利益		1,753	1,300	▲453 (▲26%)
親会社株主に帰属する当期純利益		1,122	1,050	▲72 (▲7%)

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料に記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。